

第 93 回紫友まち歩き

初夏のシドニーまち歩き

今回はシドニー在の案内人によるシドニーまち歩きです。計画は4月から始まりましたが、参加者のそれぞれの都合に合わせるため、シドニー現地での集合となりました。ツアー参加の人たちのスケジュールを基にまち歩きのスケジュールが決まり、集合場所もツアーで利用するホテルのロビーとなりました。ツアーでの参加3名、フリー計画での参加3名、現地からの案内人1名の計7名でのまち歩きです。

シドニーは初夏になりつつある気候で、暖かく気持ちの良いまち歩きになりました。しかし、11月中頃からシドニー近辺での山火事のニュースが入り、少し気になっていましたが、まち歩きには影響ありませんでした。時期的には遅いかなとあきらめていたジャカラングの花も、異常気候のせいか、まだ少し残っていて楽しむことができました。

シドニー在の別の同窓生訪問も別途実施し、シドニーまち歩きは11月28日(木)の懇親会から始まりました。

日時： 2019年11月28日(木)

から30日(土)

集合時間：11月28日17時30分

集合場所：ホリデーイン・ダーリングハーバー・ホテルのロビー

参加者：7名参加

案内人：八重樫 017D (シドニー在)

懇親会：28日 The STAR ホテルの Black Bar & Grill レストラン、29日 八重樫さん友人宅でワインテイastingと夕食

歩いた歩数：3日間で約60,000歩

■まち歩き行程

28日：ホリデーイン・ダーリングハーバーのロビー集合→ライトレールでレストランへ→夕食懇親会(7名)→解散→ホテルへ

29日：ホテル出発→シティーレールのセントラル駅まで歩く→電車でミルソنز・ポイント駅まで移動(2階建て列車)→ミルソنز・ポイントからオペラハウスを眺める→船でミルソنز・ポイント埠頭からバランガルー埠頭へ移動→ホテルへ→飲茶で昼食→セントラル駅からサーキュラーキー駅へ→オペラハウス内部日本語ツアー→ハーバーブリッジを徒歩で対岸まで橋歩き→ミルソنز・ポイント駅からチャツウッド駅へ→オーストラリアワインのテイastingと夕食→解散→ホテルへ

30日：ホテル出発→バランガルー埠頭からシドニー湾見学し、ワトソنز・ベイ埠頭へ→ザ・ギャップ見学→昼食→ワトソنز・ベイ埠頭からサーキュラーキー埠頭へ→ロックスマち歩きとアートギャラリーNSW&クイーンビクトリアビル見学に分かれる→ホテル集合、解散とそれぞれ次の行程へ

11月28日(木)：

① ホリデーイン・ダーリングハーバーのロビー集合：

ツアー組3名は、ブルーマウンテン見学を終え、少し早めにホテルに着き、ゆっくりと休む。案内人を含む017の3名は、017A組の現地友人を訪問し、情報交換をする。025の1名は、単身でシドニー見学。



17:30に7名全員がロビーに集合し、明日からのシドニーまち歩きに向けて、まず懇親を深めに出かける。

② ライトレールでレストランへ

ツアー組もオパールカードを入手しているので、

ライトレールを利用する。

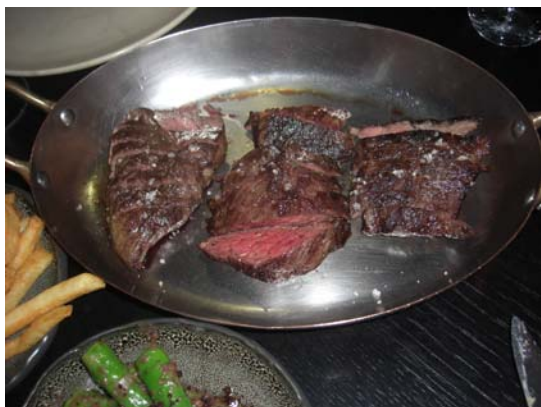


ライトレールは都電のようなトラム。乗るときの Tap on と、降りるときの Tap off を忘れないようにする。

ホテルそばの駅で乗り、目指すレストランに少し早めの 18:00 に着く。

③ 夕食懇親会

7名の席に座り、ビールとワインを頼む。窓からはダーリングハーバーが見える。オーストラリアの肉をいろいろ食べたいと、4種類を頼みシェアすることにする。



オーストラリアワインの2番目に安い赤を頼む。しかし、それなりの値段だ。

(Ross Hill Tom & Harry Cabernet Sauvignon は、1

本 80 オーストラリアドルでした。NSW 州のオレンジ地方のワイン。)それも2本飲んでしまった。当然、この分は男性だけで分担支払う。残念ながら肉の追加発注は受け付けてもらえなかった。デザートも食べ、少し贅沢な夕食になる。集合写真も撮ってもらう。高かったけど、せっかくだからと、納得することにする。



④ 解散

2時間ほどで、食事も終わる。このレストランはカジノと同じホテルのビルにあるので、3名はカジノにちょっと寄ると言って、他の人と別れる。4名はホテルへ向かう。

カジノでしばし楽しむ予定であったが、なんとわずか10分ほどで帰ることになってしまった。ラスベガスに比べると掛け金の最低レートが少し高かったのも原因か。勝負の回数が期待より少なかった。カジノは撮影禁止。

ライトレールでホテルに戻る。

11月29日(金):

① ホテル出発

本日のツアーは列車やフェリーに乗ってシドニー湾周辺の午前中観光なので、折角だからツアーの3人の後をついて行くことにした。

9時過ぎにホテルを出発。なお、現地在の案内人は昼から参加予定。

② セントラル駅まで歩く

良く晴れていて少し歩くと暑い。ツアーの人数は12人で、まとまりの良い人数のようだ。シティーレールのセントラル駅まで歩いて行く。



③ミルソズ・ポイント駅まで移動

セントラル駅は広々としたターミナルで、シティーサークル線に乗るホームに向かう。2階建ての電車。

シドニー湾越えにオペラハウスが良く見えてきた。



ハーバーブリッジの下をくぐって進むと、ルナパークという派手な飾りの遊園地が見えてきた。複数の学校の生徒が並んで待っている。

④ミルソズ・ポイントからオペラハウスを眺める

ミルソズ・ポイント駅のホームからハーバーブリッジが良く見える。しばらく見学し、写真も撮る。



我々は、ミルソズ・ポイント埠頭からのフェリー出発まで一休み。

⑤船でミルソズ・ポイント埠頭からバランガルー埠頭へ移動

気持ち良いので外の椅子に座って景色を楽しむ。

駅から坂を下って岬の先に進んでいく。ジャカラダの花が見える。



ハーバーブリッジ越しのオペラハウスの写真を撮る。



バラナグラー埠頭は現在開発中で、新しいカジノが入る高層ビルが建設中。



船を降り、ダーリングハーバーに向かってツアーの人たちは歩いて行く。そこでツアーは解散し、自由見学となる。



⑥ホテルへ

仲間6人は、現地に住む案内人が待つホテルに向かって歩く。

ここから正式なシドニー在の案内人によるシドニーまち歩きが始まる。

12時にホテルを出発し、飲茶のレストランへ行く。

⑦飲茶で昼食

ホテルのそばにある Marigold という中華レストラン。ワゴンが回ってきて好きなものを選ぶ。



少し騒がしいが、ビールを飲みながら、我々もこれが良い、あれも良いとワイワイと話しながら食べていく。豆腐のようなものに甘い汁をかけたのはデザートだったようだ。

セントラル駅まで歩いて行く。サーキュラーキー駅へ行くライトレールの新線の運用テスト中（12月14日めでたく開通。この日は無料で沢山の人が乗ったそうです。）。

ここで集合写真を撮る。



⑧セントラル駅からサーキュラーキー駅へ

ホームで仲間の誰かが、桜の木に行くと言っている。なんだ？桜の木、さくらのき、さーくらきー、サーキュラーキーということだと分かる。また、車内アナウンスが日本と同じとの感想も。「この列車・バスはx x行です。次はx xに止まります、x xに着きます、ドアが閉まります」、など。ヨーロッパなどは一言もない場合が多いのに比べると、旅行者にとって親切。写真を撮りながらオペラハウスに向かって歩く。良く晴れて皆薄着だ。



ハーバーブリッジの最高 134m のアーチを歩いて登るブリッジクライムをしている人たちが、かすかだが見ることができた。



⑨オペラハウス内部日本語ツアー

日本人のガイドについて行く。まず入り口のコンクリートのアーチの下に木造の壁が立ち上がっている正面ロビーで、ビデオで建設の歴史を見る。



デンマークのウッツォンのデザインが選ばれ、1958年から14年たった1973年に完成し、エリザベス女王出席のもと、こけら落としがされた。



階段を上って海に面したロビーで、しばらく多くの船が行きかうシドニー湾を眺める。



次はコンサートホールの中に入り、椅子に座ってガイドの説明を聞く。写真撮影禁止。パイプオルガンは1万500本だという。最後に入り口そばで、屋根のタイルやガラスのドアなどの話をしてくれた。屋根のタイルは、スウ

ェーデン製で、光沢のある白色と艶消しの黄色の2色が使われていて、全部で100万枚だという。ガラスはフランス製だなど。



土台の表面にはブルーマウンテンから切り出した花崗岩が張られている。



まち歩き同行の建築家の感想です。「こうした核となる都市の象徴をイメージし、政治的・財政的に最後まで尽力し支えた設計以前の関係者の想像力と根気に深く敬意を感じます。それは近代建築では稀有なる存在です。」

ここだけでなく、中国人または中国系が多い、増えていることにも驚きました。

⑩ハーバブリッジを対岸まで歩く

ここまでで歩き疲れた3人は、フェリーでミルソングズ・ポイントへ行くことになり、残り4名でハーバブリッジを歩いて渡ることにする。今日はロックス見学ではないので、素通りをしてハーバブリッジに行く道を昇って行く。良く晴れ少し風もあり気持ち良い橋の歩きを経験できた。



橋は片側4車線の広さがあり、鉄道も下を走っている。期待していた橋からのオペラハウスを眺めることができた。



⑪ミルソングズ・ポイント駅からチャツウッド駅へフェリーで先についているものと思っていたが、どうも寄り道でもしているのかなかなかやっこない。途中でジャカラランダの咲いている木を見つけ、ジャカラランダの花びらを集めていたという。桜の花びらとは違っている。



集合してシティーレールで北方のチャツウッド駅に向かう。

仲間がシドニー産の塩を欲しいというので、案内人があちこち探し、やっと見つけ購入する。

⑫テイastingと夕食

案内人の女性先輩のマンションに行き、オーストラリアのワインのテイastingを始める。まず自己紹介と集合写真を撮る。



何と試飲するワインは9種類。説明書きに従って説明をしてくれる。グラスを替えながら、少しずつ飲んでいく。お酒をあまり飲まない女性は、もったいないと言って隣の人に飲んでもらう。あとで、ワインの肉煮込みにでも使ったら、ブレンドされて美味しいかもと思う人もいました。



Cruickshank Sparkling Shiraz,
Semillon 2016(Dark Horse),
Sauvignon Blanc 2018(Joset Chromy),
Chardonnay 2017(Norfolk Rise),
Chardonnay 2018(Indigo Vinyard),
Pinot Noir 2018(PEOS Estate),
Pinot Noir 2017(Quartier),
Shiraz 2017(Four Hand),
Shiraz 2017(Kaesler Stonehorse)

上記の9種類の試飲で十分良い気分になった。最後は夕食と一緒に、試飲で残っている好きなワ

インを飲ませてくれた。ワイン好きには良い経験だったようだ。

なお、ワインにまつわる話として恐ろしかった話。オーストラリアのワインで有名だった地域が、地域ごと中国に買われた話。それもワイン製造の為では無くて、地下の石炭の為だったとか。

⑬解散・ホテルへ

女性たち4人はタクシーでホテルに戻る。3名はシティーレールに乗り、セントラル駅経由でホテルに戻る。案内人も本日はホテルに泊まる。

11月30日(土):

①ホテル出発

全員同じホテルに宿泊で、9時少し前にロビーに集合。シドニーまち歩きの二日目。バラングルー埠頭に向けて歩いて行く。

②ワトソンズ・ベイ埠頭へ

今日のフェリーや列車に必要なオパールカードのチャージをする。



バラングルー埠頭でフェリーに乗り、ハーバーブリッジの下をくぐり、オペラハウスを右手に見ながら進む。



シドニー湾を見学しながら、ワトソンズ・ベイ埠頭へ向かう。今日は風も強く少し寒い天気だ。後部から離れていくハーバーブリッジやオペラハウスを写真に撮っていく。



ワトソンズ・ベイ埠頭に着く。



③ザ・ギャップ見学

足が痛くなったと休憩をする人と付き添いの2名は、Doyles on the Beach という 1885 年にオーストラリアで最初にオープンしたシーフードレストランに残ることになる。

5 名は、飛び込み自殺で有名なシドニー湾と太平洋のつなぎの場所で、断崖絶壁のザ・ギャップに向かって昇って行く。崖が深く切り込んでいる。



自殺防止の看板があちこちに置かれている。崖の上をしばらく歩いて行き、高台から湾越しにシドニー中心部の遠景を楽しむ。



太平洋への出口にもなっている。

④昼食

レストランに戻り、昼食を取ることにする。ここでもいくつかパスタを頼みシェアをする。



少し小雨が降ってきたが、気にせず食事をしていく。晴れ、曇り、小雨を繰り返す天気だ。

⑤サーキュラーキー埠頭へ

バスでも行けるが、同じフェリーでサーキュラーキー埠頭へ戻る。

⑥ロックスマチ歩き

サーキュラーキーでツアーの3名は、ガイドが薦めた美術館にタクシーで行くことにした。残り4名は、当初予定のロックスマチ歩きを始める。

アーガイルストリートを歩き、まず The Rocks Discovery Museum で昔の歴史を勉強する。1788年に英国船が上陸し、ロックスマチはオーストラリア

で最初の開拓地となった。なお、ツアーガイドによれば、最初にたどり着いて開発しようと思ったら、岩また岩また岩で、ロックと名付けたそうです。この複数になっているところが、いかに岩だらけであったかという事だそうです。

ロックスにある古い倉庫を改造して作られたバーを見学。夜はにぎわっているのだろう。



アーガイルカットの切通とトンネルを過ぎると、右に教会、左にシドニー天文台が見える。



アーガイルプレイスの建物を見、シドニーでいちばん古いというロードネルソンホテルを見て、右に折れて歩いて行く。



古い建物を見ながら歩き、案内人が勧めるビールを The Hero of Waterloo で頼み、外の席で飲み始め

る。現地の年寄りが明るく挨拶をしてくて、一緒に写真を撮る。



アーガイルカットに戻り、細い道を選んで歩いて行く。



新興都市開発のバラングルー地域に向かうことにする。なかなか地元の案内人が一緒に乗れない、バスにも乗れた。

目指すシドニー湾の広場は、カジノのビルを建設のため入れなくなっていた。

⑦アートギャラリーNSW とクイーンビクトリアビル

健脚組と別れた3人はシドニー湾からハイドパークまで連なる大公園の中央にアートギャラリーNSW（ニューサウスウェルズ州立美術館）を訪ねる。モダンからアジアンアートまで多彩。特別展で「日本の妖怪：Japan Supernatural」を紹介していた。

中心地区にタクシーで移動（メータが壊れているとかでボラれた）、目抜き通り交差点にクイーンビクトリアビルを訪ねる。19世紀末のショッピングアーケードで、高級ブティックが並んでいる。



⑧ホテル集合、解散とそれぞれ次の行程へ

ダーリングハーバーを通過してホテルに戻り、全員集合。



ここでまち歩きは終了し、それぞれの仲間が別々に分かれていく。

バスで空港へ行くツアーの3名を、残り4名で見送る。



自由参加の1名は、残念ながらツアーのバスには乗れないので、列車で空港へ移動。案内人は自宅へ戻る。

自由参加の2名は、タスマニアとメルボルンの観光を継続するので、まずチャイナタウンの居酒屋で夕食をとり、その後、空港そばのホテルに移動しました。

これでシドニー在の案内人によるシドニーのまち歩きの全行程が終わる。

世界遺産オペラハウスを陸、船、橋の上から360度で全方位から眺めることができました。さらに、内部の見物も楽しめました。電車、トラム、バス、船、タクシーなど交通機関もいろいろと楽しめました。ジャカランダの花が残っていて、青い花を楽しむこともできました。

次の機会には、オペラハウス内部は見たので今度はコンサートを聞きたい！初夏の南十字星が見たかった！「見ざる、言わざる、聞かざる」のパブに行ってみたかった！いくつか思いを残して去るのは良い事と思っている人も。

お疲れさまでした。

以上